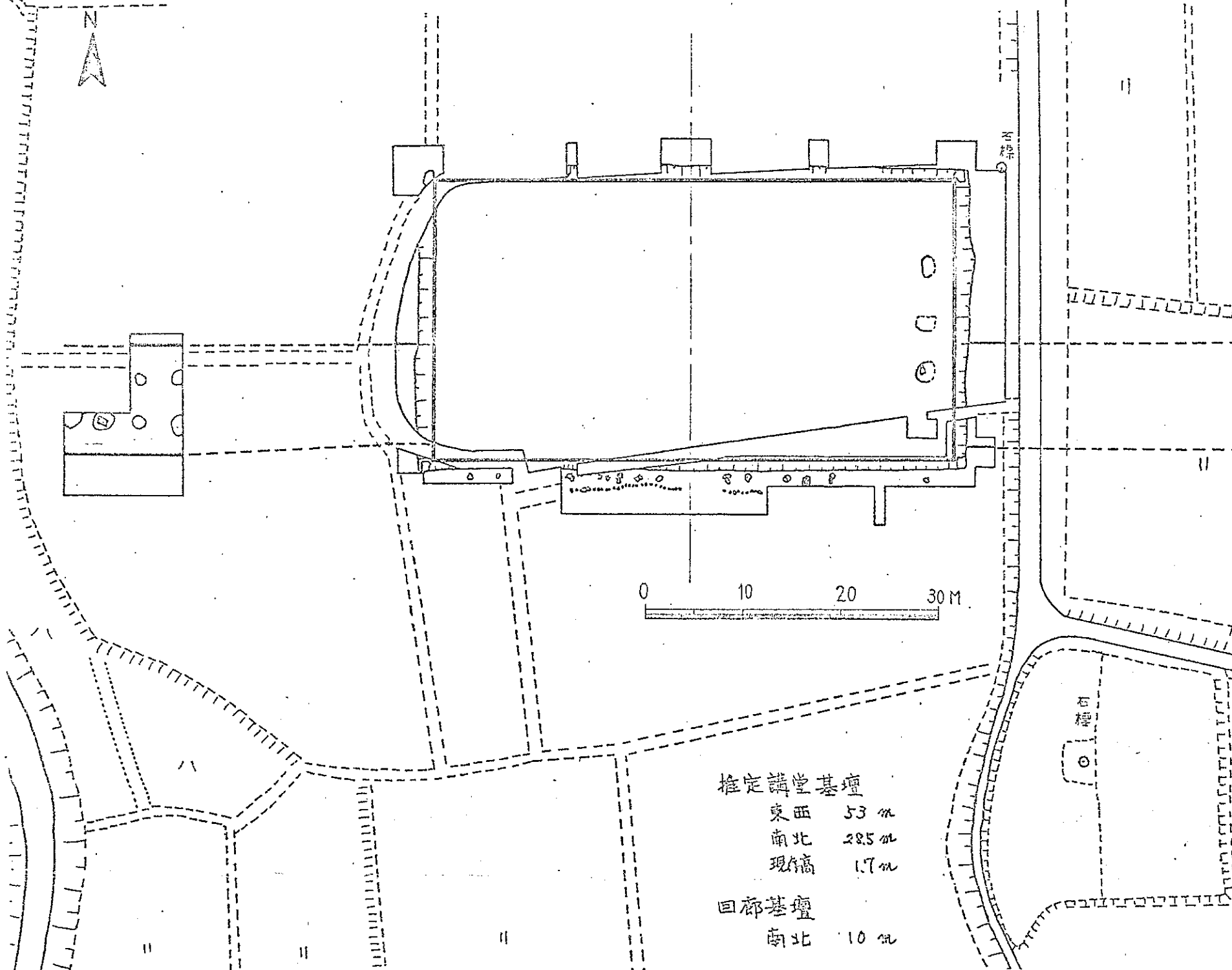


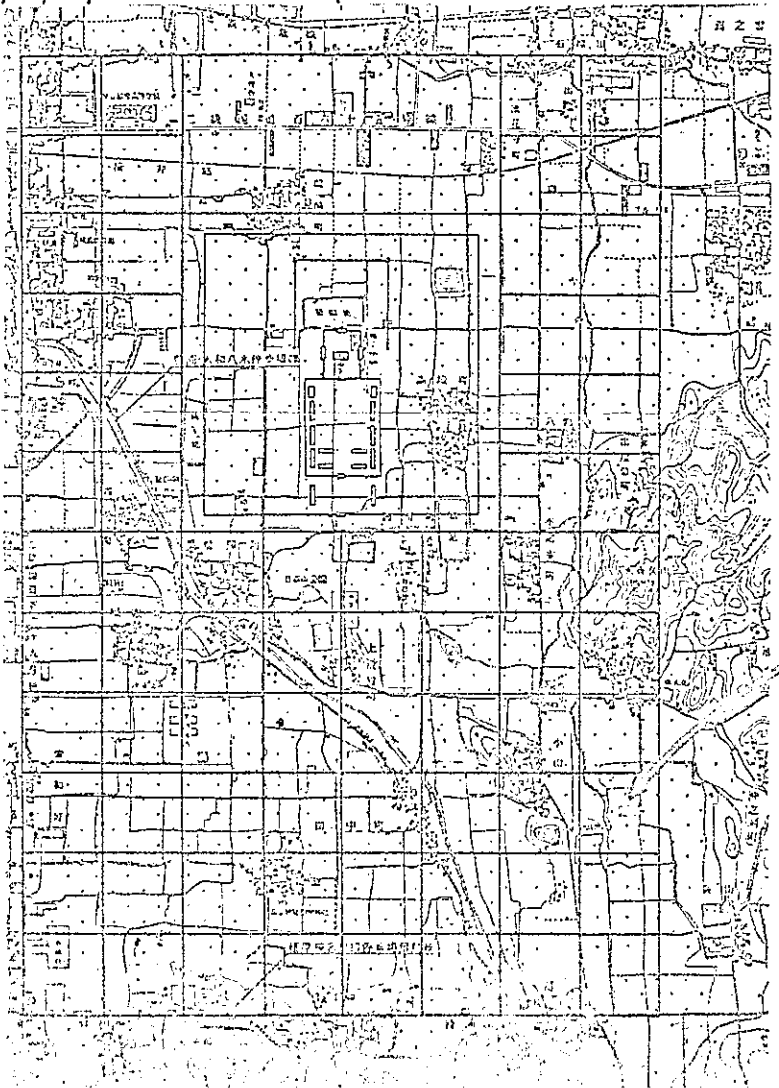
大官大寺講堂推定地の調査

現地説明会資料 1974.10.12.



推定講堂基壇
 東西 53 米
 南北 28.5 米
 現高 1.7 米

回廊基壇
 南北 10 米



天武二年(六七三)
 以小紫美履王 小錦正統臣訶多麻呂 鑄造高市大寺司今大官大寺址

天武六年(六七七)
 改高市大寺 号大官大寺 (資財帳)

大宅元年(七〇一)
 大政官処分 造官官准職 造大宅藥師三寺官准職 造路丈六
 二官准司焉 (統紀)

後藤原朝廷御宇 天皇 九重塔立金堂作違 並丈六像敬奉違
 之 (大宅寺伽藍縁起并流記資財帳)

和銅三年(七一〇)
 移立大官大寺於平城京 (按察略記)

和銅四年(七一一)
 大官寺并藤原宮焼亡 (按察略記)

(普記)